

令和4年

本事業は、経済産業省及び国土交通省の連携による国庫補助事業です。

AI・IoTを活用した更なる 輸送効率化推進事業費補助金



トラック輸送の省エネ化推進事業

車両動態管理システム

予約受付システム等

配車計画システム

+

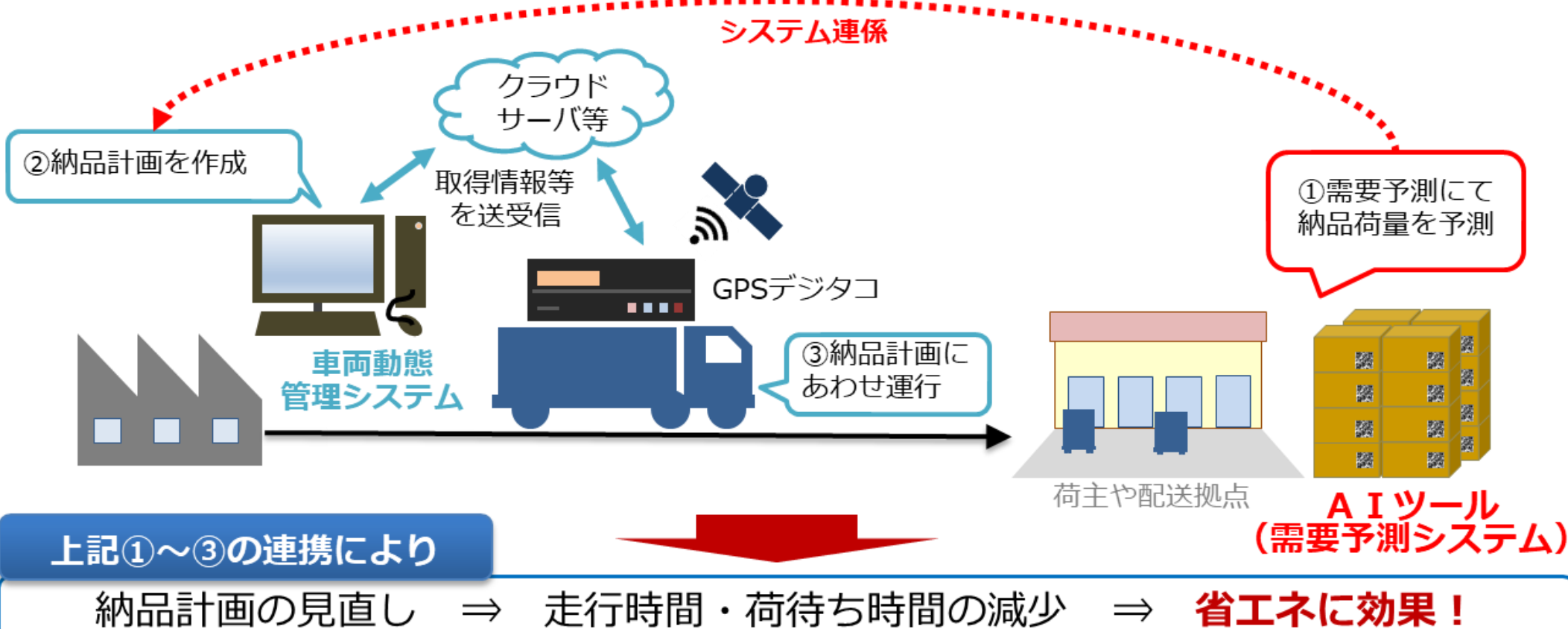
AI・IoTによる
システム関係ツール

を活用したトラック事業者と荷主等
との連携による輸送効率化の実証

【事業概要】

トラック事業者と荷主等が連携して物流全体の効率化を図り、省エネ化を推進していく実証について、車両動態管理システム、予約受付システム等、配車計画システム、及びAI・IoTによるシステム関係ツールの導入に対する補助を実施します。

荷主連携策のイメージ（例）



補助のポイント

【補助対象】

- ① トラック事業者への車両動態管理システムの導入・活用
- ② 荷主等への予約受付システム等の導入・活用
- ③ トラック事業者、荷主等への配車計画システムの導入・活用

④ AI・IoTによるシステム関係ツール

今年度より上限額を廃止

- ・ ①～③のシステムと同時導入・連携するツールのみ補助対象（ツールの単独導入は不可）
- ・ AIツールの例：自動積付計画システム、需要予測システム 等
- ・ IoTツールの例：荷量情報管理機能システム 等

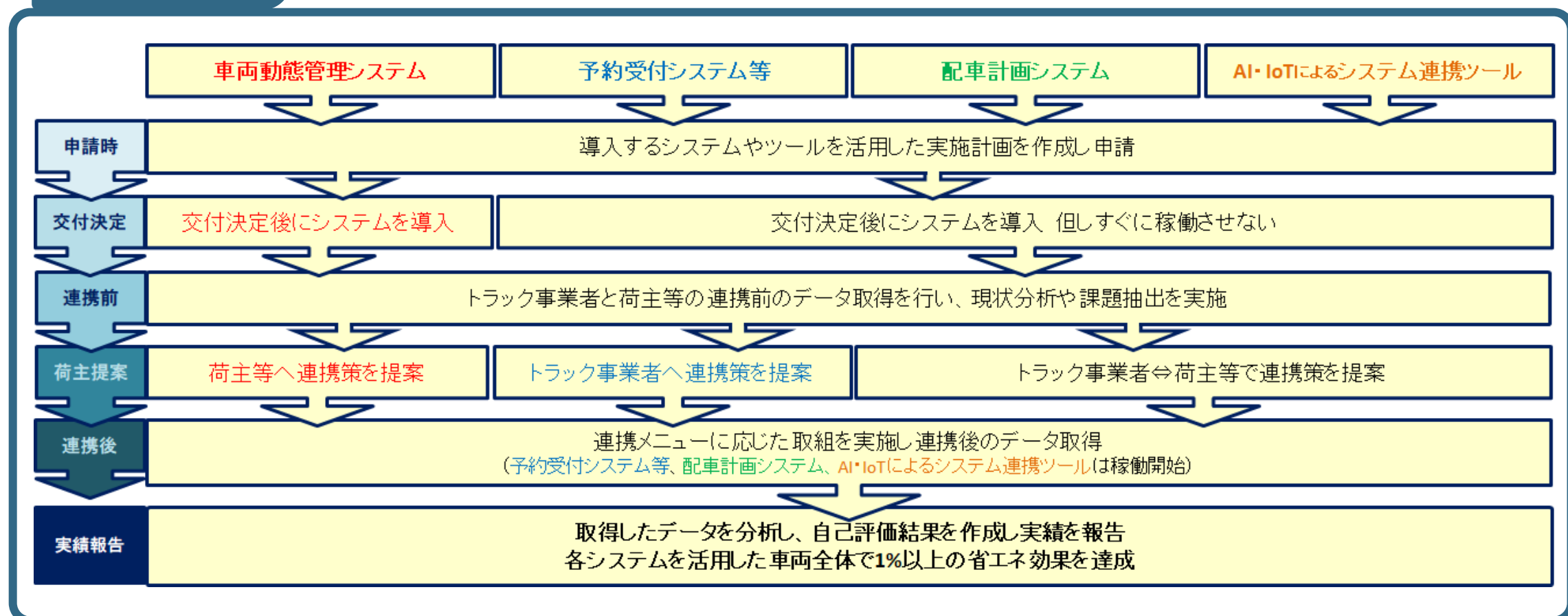
【実施内容】

トラック事業者と荷主等が連携して輸送の効率化策（省エネ化）を実施

【実施成果】

省エネルギー効果1%以上の達成が必要

事業の流れ



スケジュールと予算額

【受付期間】

1次公募：令和4年8月17日(水)10:00～8月24日(水)16:00

2次公募：令和4年9月16日(金)10:00～9月26日(月)16:00

【予算額】

約35.5億円 (1次公募 約30.0億円、2次公募 約5.5億円)

※優先採択の基準について、R4年度は以下のように変更

- ①予算の範囲で事業用トラックの申請を優先的に採択し、次に②事業用トラックの採択終了後に残予算を上回らない範囲で自家用トラックの申請を採択
- 予算額又は残予算額を超える場合、車両動態管理システムについては、予算額又は残予算額を上回らない範囲で実施計画における省エネルギー費用対効果（トン・キロあたりの燃料削減率／補助対象経費）の上位の申請から優先的に採択
- 予約受付システム等及び配車計画システムの申請については、予算額又は残予算額の範囲内であっても費用対効果が他の申請と比較して低い実施計画である場合は不採択とすることがある

補助率及び上限額

| 補助対象システム・ツール | 補助率 | 1事業者あたりの補助金上限額（台数） |
|--------------------|----------------|--------------------|
| 車両動態管理システム | 定額※または1 / 2 以内 | 50台 |
| 予約受付システム等 | 1 / 2 以内 | 2千5百万円 |
| パレタイズシステム | 1 / 2 以内 | 5千万円 |
| 配車計画システム | 1 / 2 以内 | 2千5百万円 |
| AI・IoTによるシステム関係ツール | 1 / 2 以内 | なし |

※ 1台あたりの補助対象経費が24万円以上の場合、補助額を定額の12万円とする。

※ 詳細については、補助事業ホームページ（<https://www.pacific-hojo.jp/>）に掲載の交付規程および公募要領をご確認ください。

【お問い合わせ先】

陸上輸送省エネ推進事業事務局

メールアドレス：dotai_hojokin@04.pacific-hojo.jp

平日10:00～16:00（12時～13時は除く）

電話：050-3154-0507

休業日：土日祝・年末年始